

弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い
令和2年度第4回定例会（第21回）報告

日 時	令和2年10月18日（日）午前10時～11時40分
場 所	多摩の里 けやき園 地域交流スペース
担 当	司会：山口信夫 記録：事務局
参 加 者	13人（敬称略・順不同） 〈地区6名〉 山口信夫、齋須照夫、三牧宏彬、佐々木智恵子、沖原寧子、加藤京子 〈関係者4名〉 市福祉総務課 明日係長、市防災防犯課 井上主査 多摩の里けやき園 金井島施設長 西部地域包括支援センター 野島生活支援コーディネーター 〈社協3名〉 大澤次長、岡野主査、江連
配布資料	(1) 次第 (2) 会則の作成について (3) 会則（案 2020.10.18） (4) やよい声かけ隊サポーター募集（案） (5) 東久留米市地図（高齢化率・乳幼児割合） (6) わくわく歩くるめマップ（全域版及び1～4）

1 今年度の取り組み

① 会則（団体の運営や活動の基本となるルール）・名簿づくり

山口：どういう会にしたいか、まずどういう名前にしたいかで決まってくると思います。なにかみなさんご意見ありますか。会則というものは、テーマごとでその中にサブ会則も作るのか。例えば「住みよいまちづくり」という会則をつくり、その中に「夏にお祭りをやる」とか。

江連（社協）：会則は、内外の人たちに「私たちはこうした目的で集まり、こういうことに取り組む」と表明する活動の基本になるもの。例えば「お祭り」とか「声かけ」は、別途企画として決まりごとは検討するのがよい。

山口：「住みよいまちづくり」は、あまりに大きなテーマですがこれでいいのかな。

佐々木：長い名称は噛みそうですね。「みんなの弥生」とか。

山口：親しみやすい名称でみんなが入って来られる名前がよいですね。

佐々木：やよいて入れない方がよいのか。

山口：「やよい」が入っている方が地域で何かやっているとわかりやすいのでは。なかなか全体に浸透するのは難しいから、せめて自治会の人には知ってもらいたいですね。第一段階としては。ご意見をお願いします。

沖原：この集まりは、何年も続いてきていますね。だから「今までやってきたことと違う」という誤解が生まれるならば、そのままの名称で続けた方がよいか。

佐々木「住みよいまちづくり」とか「住みよいい〇〇」とか。

沖原：「これ！」というのがわかればよいのかなと思います。

佐々木：他の地域に広がっていくにしても「住みよいまち」はわかりやすいか。

山口：「弥生」は入れたほうよい。

齋須：「住みよいまちづくり」は、認知度が広がっているのではないか。

佐々木：関係者はいつも同じ。まわりにはそれほど広がっていないのが実情です。

齋須：弥生を対象とした人々の集まりということなら「弥生地区」をいれる。それ以外の人たちも入ってくるなら変えたほうがよいか。

佐々木：「住みよいまちづくり」というのは弥生地区だけか。

江連（社協）：はい。

佐々木：それならば「住みよいまちづくり弥生」とすれば、ほかの地域でも「住みよいまちづくり〇〇」として集まることが可能なのではないか。

沖原「住みよいまちづくり弥生」は長くないか。

加藤：ちょっと長いかな。あまり会の名前を言う機会はないかもしれないが、活動が広がっていったら、言う機会が増えていったときは面倒になる。

佐々木：「住みよいまちやよい」。住みよくなればいいなという気持ちを込めて。

大澤（社協）：「住みまち」と略したらどうか。正式には「住みよいまち弥生」。

江連（社協）：「やよい」は平仮名か漢字か。

加藤：小学校で習う漢字だから小学生でも読める。

齋須：小学生は歴史で弥生時代を学ぶからわかる。

山口：では名称は「住みよいまち弥生」にしましょう。どういうまちが住みよいまちか考えていかないといけない。会則にある役員はどうするか。

佐々木：第8条「役員」に記載がある。会計年度は4月1日から翌年3月31日。会則自体は4月1日から施行するのか。

山口：4月1日付が良いのではないか。

齋須：現時点では会則は案である。皆で話し合う機会をもたないと荷が重いかな。

佐々木：自治会は年会費を定めてお金を集めているが、この集まりは年会費は集めなくてもいい。必要に応じて集めるので良いのか。

沖原：必要な時に会費として集めても良い、寄付として集めても良い。

加藤：何でも会則に載せてしまうと会則に縛られて、何もできなくなってしまう。

山口：自治会があるところは中で周知してもらい知人友人を集めてもいい。それでみんな盛り上げていく。

齋須：会則がこの案でいいのか、もっとこうの方がいいのか、みなさんのご意見を聞いた上でつくる必要があるのではないか。

山口：自治会があるところはよいが、無いところはどのように意見を集めるか。

佐々木：ポスティングするしかないのでは。ご意見ある場合は電話くださいとか、会議に参加してくださいと。

山口：この前も訪問したら怒られた。何回インターホンを鳴らすのかと。

佐々木：顔見て怒られても「今度参加しませんか」「お待ちしております」と声をかける。私今度行くから、今度一緒に行かないとか。誘われるのを待っている。

山口：断られようがお金かかったとしてもポスティングしたほうが良いのか。また来たぐらいに思われる方がよいか。

佐々木：知らない人のポスティングより、顔見知りになることが大事。これからの課題になります。

加藤：知らない人がポスティングするとそういう対応になってしまう。「私は弥生自治会の加藤です」と必ず肩書を言います。「同じ自治会の何班のものです」と。そうすると「ごくろうさま」と言ってくださる。知っているという認識があるとそんな扱いはされない。だから何度も何度も行った方がいい。「また来たの」くらいになれば、徐々に優しくなるのではないか。

佐々木：「この地区の方は誰も来ていないので、どなたか誘って来てくださいますか」と。名称が決まったら腕章をつけて。一個 100 円で出来る。それつけてポスティングすれば少し反応が変わるかもしれない。

加藤：今は知らない人に難しい。詐欺とかもある。本当に詐欺が多いので。

山口：集まりにもっと参加してほしいが、今コロナで出てくる人がいない。この前もいなかった。参加してくれる方法を考えているが何かないか。

佐々木：何かイベントがあるとよい。防災上で必要な所を見に行くとか。例えば「防犯まち歩き」など。会議だけじゃ来ない。そのための会議にすればよい。

齋須：会則を決定する場合は、まず案を皆に配り、意見がなければこれにする。勝手に決めたとならないように案ということで修正の希望がないか確認するとよい。

沖原：「弥生に住んでいるからこの会の会員」と強制的にしているわけではない。「会に参加して活動と一緒にやります」と手を挙げた人が参加者である。弥生地区の全世帯に配るのは、私たちがこういう会をつくったので、賛同して下さる方を募集していますという時に、初めて全世帯に配れば良いのではないか。

加藤：前回の会議で「次回は会則について話し合ひしましょう」となり、その案内があったので参加した。案内文などは誰に配っているのか。

江連 (社協)：今までの集いに参加した方々 50 名ほどにポスティングしていただいている。

加藤：そうですね。この会の会員とみなされる方に案内して今日の出席者が 6 名。この 6 名で決めて良いのではないか。今日は他の用事もあったが会則を決めるということで参加した。前回私は会議に参加していませんが、みなさんは私よりも参加されているのでだいたい流れはわかっているのではないか。

齋須：回覧などでこの案でいきますけどご意見ありますかと確認したほうがよい。

江連 (社協)：今回の会議も報告をつくり 50 名ほどにポスティングする。なお、宛先に自治会もありますが全ての自治会が回覧しているわけではない。修正や意見など何かあれば、次回の会議までに事務局までお知らせください、または会議にご参加くださいとするのはどうか。

山口：そうしましょう。

② 子どもたちやご近所への声かけ・あいさつ活動

山口：では次の議題にいきます。子どもたちやご近所への声かけあいさつ運動について。具体的にどうしたらよいか。

沖原：別紙のとおり見本を作成した。前回の会議の時に声をかけると不審者だと思われるとことから、どうしたら回避できるかというところで見本を配り腕章でもネームホルダーにでも下げてもらえれば、それが挨拶のマークになる。「地域の活動としてやっています」という目印にもなる。朝の登校時間を書きましたが、時間は書かなくてもいいのかと思う。好きな時、お散歩の時に持って出てもらえれば挨拶する目印になる。「妊婦さんマーク」と同じように、「挨拶マーク」として皆に認識してもらえれば声をかけやすいのではないか。これは案なのでご意見あれば修正する。これが費用もかけずにできることかと思いついてきた。

山口：いいですね。これをつけて毎朝通勤したいなあと思います。水道局の前を通ると、おじさんがこれくらいのつけて歩きながら挨拶をしている。「私は挨拶しています」と。一人でやっています。不思議と西中の前でやっている。日本人は挨拶しないが外国の方は大きい声で挨拶する。だから生徒だけでなく、色々な人にも挨拶をすれば良くなると思う。

沖原：「住みよいまち弥生 あいさつし隊」にしますか。

佐々木：「隊」があった方がいい。

齋須：挨拶を繰り返していれば、この人は近くに住んでいる人なんだと認識される。

沖原：「住みよいまち弥生 あいさつ隊」に修正します。

山口：恥ずかしくないでつけることが一番かな。

沖原：会則案に同封して皆に配るということで事務局にてお願いします。

井上(防災防犯課)：腕章のお金がないとかベストはどうしようとか、会が自発的な活動として、登下校に挨拶をすれば地域がつながるのではないかという話ですね。今はこの札をぶら下げて、家の前で子どもたちに声をかけるので、これはこれで面白いと思うし自分自身もやってみたい。

防犯パトロールとして役所の色々な活動でいえば、防犯ベストをつけて棒を持ったり、腕章をつけたりしている。防犯ボランティアのようなパトロールがあるので、「住みまち弥生」でパトロールをするというのならば、申請いただければ資機材の貸し出しはいつでもできる。腕章はあまりカッコいいのがなくて、地域で工夫してやってもらったらそれでいいし、ベストは単価が高いので必要であれば何十着とありますので団体ができたあかつきには、申請いただければ無料でお貸しできます。

他にニンジン棒という光る棒も何十本もありますが、任意の声かけなので必要に応じてご相談いただければ。実際は老人会や趣味グループがパトロールをやって下さっているの、今すぐでなくてもご相談いただけると良い。

不審者でないことをできるだけ証明したいという話が前回から出ているが、学校に一度声を掛けたらどうか。活動を始めた時に、第九小学校や西中学校に挨拶を地域でやっていると。そうしないと折角ここまでいい活動をしているのに、地域の人から不審者と思われる。とにかく1回やってみるとよい。必要な具体的な活動のサポートはできるのでご連絡下さい。

加藤：学校は事前に連絡をしてからすすめるようにする。

江連 (社協)：社協だよりを12月1日発行する。今回の取り組みを記事にするので学校にご一緒させてもらえれば経緯など説明する。

加藤：学校では、愛のひと声パトロールをやっている。九小は地区班ごとにパトロールを出し、西中は協力員制度でやっているが、今年度はコロナで会議も出来ておらず、総会も書面でやり取りして西中の担当を決めたが、活動を強制する連絡は特にないので、委員になった人だけで夏休みにパトロールしたという状況でなかなか難しい。やっちはいるけどあまり活動はないので、お互いの顔もまだ知り合えていない。

井上 (防災防犯課)：地域というキーワードに色々な活動が乗っかっている。防犯活動は立っているだけでも抑止になる。地域防犯の基本的なコンセプトは、そこに人がいるというのが一番。不審者事案は割と地味な感じがするが、深刻なところは深刻で髪の毛をつかまれた、いきなり殴られたというのは結構入ってくる。どうするかというと私もパトロールにでたりする。青いパトロールカーを走らせる。

地域の方に具体的にこういうことが起こったとは言いにくい。例えば弥生で困った事案がある時に、あいさつ隊があるからちょっと活動してくださいと協力をお願いできて、良い連携ができるのではないか。もちろん防犯だけが目的ではなく、ある程度のコミュニケーションづくりという大義もある。

齋須：隣近所の人に「おはよう」とか声をかけるだけでも違うと思う。自然なことだと思う。

井上 (防災防犯課)：今はこういうご時世なので、知らない人に声をかけられたとなる。繰り返すが防犯は、そこにいて立派な抑止になる。不審者事案だけではなく、過去の教育的な非行の問題などもつながってくる。やっていただくことがすごく効果がある。

佐々木：「あいさつ隊」のネームホルダーをつけて歩く人は登録したほうが良いのか。

何か事案が起こった時に、活動して下さいという連絡を入れていただけなのか。

井上 (防災防犯課)：必ず連絡をするわけではない。ただ団体名は入れた方が良い。なぜかというとなんか誰がやっているかわからないから。会則も活動の母体があり、その人たちはこういう目的で地域で活動をしているという土台になる。いきなり腕章だけつくってはじめたら、個人が好きでやっていることと区別がつかない。地域で連携して課題に取り組むという背景があって、あいさつ隊があるとなるととおりがいい。他の皆さんも自治会と言うとおるのと同じで、会の活動と言うと地域の活動として受け取られる。何かあった時には所轄署の田無署、教育委員会と連携して強化するところを、良からぬことを考える人間にアピールをすることで抑止になると思う。

江連 (社協)：弥生2丁目では小平市の十一小学校に通っている子がいるか。

加藤：越境は受け入れないという話を一昨年から聞いていたので、弥生地区の子どもはみんな九小に行っていると思っていた。上のお子さんが通っている流れでという場合は越境を受け入れやすくOKが出るが、家が増えているので市民は九小に行ってくださいと厳しくなっている話は聞いている。でも活動するならば小平十一小にも言っておいた方がいいかもしれない。

2 情報交換

わくわく歩くるめマップ

佐々木：今までもあったが健康課でまち歩き地図を刷新した。地図を元に川沿いを歩くとか、自分の気に入ったコースを歩く時の参考にして下さいということでウォーキングマップになっていて、結構好評です。最終的にはプロの方に依頼してデザインしているので見やすくなっている。

山口：この会に入って良かった。

佐々木：そう言ってもらえるとすすめがいがあります。マップだけではなくて、カードもある。お店の割引があり、1割引になるところやクッキーをいただけるところなど。2~3週間の健康チャレンジで、朝歯磨きとか、朝は野菜から食べるとか簡単なもので6か月間有効のカードをいただくことになっている。健康課や市役所周辺に置いてありますので、ぜひチャレンジして手元にカードを持ってお店に行ってください。健康課で数か月1回会議があるのですが、健康づくり推進員もぜひご参加下さい。

地域活動、けやき園、情報提供

山口：その他、何か気になるとか困っていることとかありますか。

佐々木：密になりそうで集まってお茶も飲めない。人と人の距離をあけなければならぬから声がおらない。集まれる機会がない。

山口：市内感染者が77人と毎日増えている。市内のどこで感染しているのだろうと思いつながら見ている。

明日（福祉総務課）：市内のどこで感染をしているのかは把握できていないが、77人全てが市内で感染したのではないことは理解してほしい。東久留米に住民票がある方になる。

沖原：10/8（木）サロンやよいが開催された。今は歌を歌うことがだめということで、音楽に合わせて体を動かすというのを取り入れながらの活動でした。音楽に合わせて何かをすることが楽しいのだと思う。定員があり申込制のため参加希望者は喜村さんをお願いしてください。

野島：自主体操グループ健笑会（第2、4土曜日午前10時から11時）では、事前に体温を計って来ることを義務づけ、最初の時に注意喚起を私のほうでさせていただいて始めた。他の地域でも集まりが再開している。帰りも消毒の徹底、帰ったあとも手洗い、うがいをして下さいと伝えている。

沖原：オンラインお茶会をやらせていただいております、来週は集会所をお借りし、操作がわからない方にはご案内している。自分でできるようになったら、お家でやってもいいし、操作がわからなくなったら集会所へ来てもらってもいい。健笑会の活動休止で体を動かさなくなったとの話を受けて、音楽に合わせてというのを考えていた。お茶会は第2、4日曜日にやっているのです。土・日曜日と2日連続体操というのもどうかと思い、かたちを変えていこうかなと検討中。

オンラインの使い方やどれくらい使ったらいくらになるのかもわからないとい

うところを気軽に聞きに来られるようなところがあっていいのかなと考え中です。ひとまず 10/25（日）はファミリーディスコをやると言ってしまったので音楽に合わせてやる。別のオンラインの会では先日 YMC A をみんなで踊りました。ご興味のある方はご連絡下さい。

野島：先ほど佐々木さん紹介のウォーキングマップですが、西部地域の自主グループで散歩グループが1つあり、地図を活用させていただいて今度は六仙公園コースに行く。以前は落合川や黒目川に行ったりしている。

少人数で散歩に行こうということで1時間半くらい歩くが、歩くというよりは花や鳥を見て写真を撮ったり、お寺巡りをしている。もしも興味のある方がいたら声をかけていただきたい。あとサロンですが、西部地域では2か所再開。自宅を開放している方がどうぞということで下里にて再開、滝山5丁目バス停の「みどりや」も再開した。2か所ともお茶を飲み、お菓子も食べる。ただし、食べる時は無言、食べたり飲んだりし終わったらマスクをすぐする。みんなおしゃべりがしたい。心を病んでしまう方が多かったのでいい機会かなと思っている。もし良かったら皆さんに声をかけていただきたい。

江連：コロナで今厳しい状況ですが、現状ボランティアができることはあるか。

金井島：音楽系のボランティアは会議室かここに来ていただいて、リモートで入居者とインターネットでテレビ電話のようにつないで、入居者さんは施設内で歌う。先日は、紙芝居をした。今後の予定は、ギターハーモニカと紙芝居、大正琴で4、5人来ていただいてスカイプを使いリアルタイムでやる。

またボランティアセンターから、小学生から高校生まで、1時間程のお話し相手をする件で、募集をしたら4、5人の希望者がいるため10分交代で行う。トップバッターは小学校5年生の女の子なので、どこまで話が続くか。高校生くらいだったらいいのですが。小学校5年生くらいの子どもを持っている職員を入居者さんの横につけようかと現場でも悩んでいるところです。

江連：コロナ禍でボランティアをしたいと思っても対人活動はできない中、安心してできる活動のモデルである。

金井島：コロナでボランティア活動を辞めますという連絡が多い。再開した時を思うとちょっと困っている。絵手紙クラブも辞めるといっているのでどうしようかと。風評被害ではないが、この貸し出しも苦情がきたりしていて、理解が難しい方もいる。

江連：滝山団地内に「安心つながりの家」コミュニティカフェがある。URが建てた建物で運営は自治会スタッフがやっている。「防災フェスタ」という名称で在宅避難をテーマで展示会を開催している。なお、取材動画を社協公式SNSで公開しているので、YouTubeチャンネル、Twitter、Facebook、LINEの登録をお願いします。

次回について

【会場借用】 沖原さん 【進行】 佐々木さん 【次第作成】 沖原さん

(次回) 12月20日(日) 午前10時から11時半

場所：多摩の里 けやき園 地域交流スペース (弥生2-1-18)